

八代市男女共同参画推進情報誌

Mi★Rai

みらい

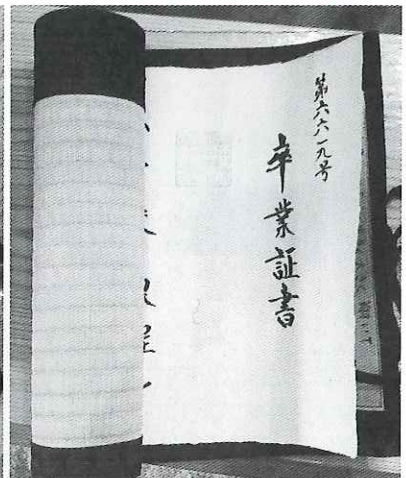
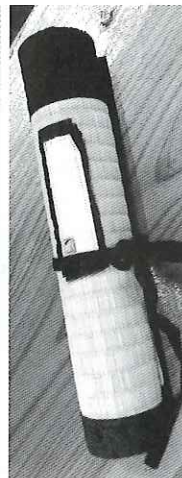


男女共同参画宣言都市
八代市シンボルマーク

第11号



ランチタイムの様子



い草の卒業証書入れ



ドキドキランチ



い草ソフトクリーム



千丁支所に隣接した「美湯菜館」では、季節の野菜やその日に獲れた新鮮な魚などを使ったランチが好評だ。メニューは当日決まる「ドキドキランチ」。ポリウム満点でしかもリーズナブル！これで経営が成り立つ理由は、「人が集まる場所にしたい。」という女性たちのボランティア精神にあるようだ。

平成十三年開館。運営にかかわる「蘭・えるぶ」は、い草で地域を盛り上げる女性グループ。ランチだけでなく、い草菓子の製造販売、リユース商品の取り扱い、デイサービスの食事提供もする。また、社会科見学を受け入れたり、い草の卒業証書入れ作りを指導したり、い草の学習にも力を入れる。メンバー各自が自分の得意分野でい草を活かす。

「全ての女性が輝く社会」の実現に向けて、彼女たちの頑張りを応援したい。

CONTENTS

・特集
チャレンジ進行中
女性農業家たち

- ・シリーズ キラット☆さん
- ・いっそDEフェスタ2015
- ・八代みらいネット
「ジェンダーかるた」

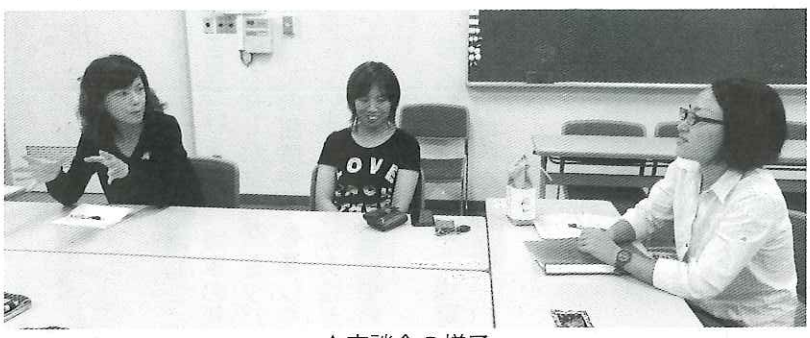
特集

チャレンジ進行中 女性農業家たち
水と緑に囲まれた八代平野とともに

ここ八代で重要な産業である農業を、柔軟な発想で取り組んでいる三人の女性たち。子ども時代から、現在をどう過ごし、これからをどのように考えているのでしょうか？編集スタッフで話を聞きました。

女性が農業をするということ

編集▼仕事と家庭のバランスは？
吉村▼結婚九年目の四世代八人家族で、子ども三人。家族が子育てに協力的なので助かっています。花の栽培を一人でしているので、特に出荷時期は休み無しで、深夜にもなります。
塚田▼シングルマザーで実家で生活しています。早朝に作業をしたいと思っても、子どもを置いて行くのが心配でできません。
吉村▼収穫時期は、子どもが寝ているうちに収穫に行き、一旦保育園や学校に送り出した後仕事に戻ります。自由に時間調整できるけど、天気次第で農作業の予定は変わりますからね。



▲座談会の様子

大橋▼実家で農家を手伝っていて、トマト・メロン・オクラ・米を栽培しています。外国からの技能実習生を、二人受け入れているので日曜日は休みです。異文化に触れられるのもいいですね。
編集▼収入は？
大橋▼給料制です。

吉村▼夫は露地野菜を栽培していて、それぞれ別々に作業をしています。手伝ってもらっているのは、年に二、三回であとはお互いのノータッチ。良い距離感だからケンカもナシ。(笑)
塚田▼今年から、農薬・肥料・土・苗の仕込み、販売の価格交渉を一人でやっています。農機具メーカーの方々とJAの営農指導の方、近所の農家さんからアドバ



よしむら せいこ
吉村 聖子さん (36歳)
大学卒業後、実家に1反(約千㎡)のハウスを建て花の栽培を始める。種まきから出荷まで1人で手掛ける。3児の母。



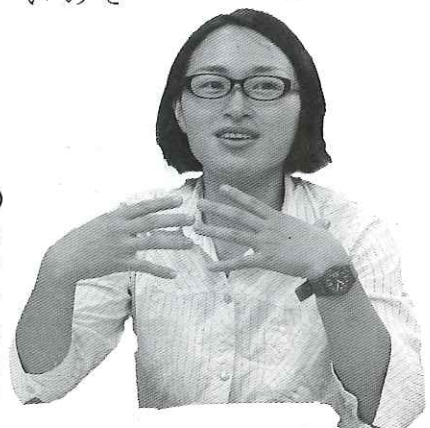
▲プリザーブドフラワー

イスをもらっています。お陰さまで、父の代からの、お得意様の飲食店などに全て販売できています。
編集▼大橋さんはグループでも活動されていますね。
大橋▼八代市と氷川町の若手トマト農家で、「トマトーヤの冒険」を結成しています。トマトが収穫できない夏に加工商品を作ってみようという始まり、現在、「完熟トマトもなかアイス」を

もの中から「次こそ男の子と思っていたら、女の子だった」と言われ続けてきて。じゃあ私なのかなと思う程度でした。
大橋▼四姉妹の長女で、子どもの時から「後継ぎだ、後継ぎだ」と言われ続けてきたので、嫌な気持ちでした。後を継ぎたい気持ちには半分半分かな。農家の良い所は、家族みんなが仕事ができることです。
塚田▼もちろん、継ぐことは迷ったけれども、父が頑張っている姿を見てきたので、思い切ったチャレンジしてみようと思っ

もの時から「次こそ男の子と思っていたら、女の子だった」と言われ続けてきて。じゃあ私なのかなと思う程度でした。
大橋▼四姉妹の長女で、子どもの時から「後継ぎだ、後継ぎだ」と言われ続けてきたので、嫌な気持ちでした。後を継ぎたい気持ちには半分半分かな。農家の良い所は、家族みんなが仕事ができることです。
塚田▼もちろん、継ぐことは迷ったけれども、父が頑張っている姿を見てきたので、思い切ったチャレンジしてみようと思っ

かもしれないね。
編集▼最後に、夢や目標を教えてください。
塚田▼二年後に「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が、菊池市で開催されるので出品する予定です。賞を取ったら、販路拡大に繋がります。
大橋▼まずは、両親が大きかった農地を減らさないようにしたいと思っています。
吉村▼自分で作った花を入れて、フラワーアレンジやブライダルブーケ、プリザーブドフラワーなど、オーダーを受けてから作っています。最近では、自分のフェイスブックなどに花を載せて、少しずつ販路が拡大しています。今は、次世代の子どもたちに、花の良さを伝える活動にも力を入れていきたいです。
編集▼本当にみなさん、考えをきちんと持たれて、素晴らしいですね。本日は、ありがとうございます。



みづた みえさん (28歳)
父親の他界後、母親と1町8反(約1万8千㎡)の米栽培の後を継ぐ。今年から1人で有機肥料米「くらら米」を栽培。八代市内の飲食店に販売。1児の母。

道の駅・物産館、そのほか東京銀座でも販売しています。日奈久の旅館では、業務用にトマトアイスをご利用いただいています。
編集▼塚田さんは、女性でしかも一人で米を作っていると聞いて驚きました。大変でしょう？



おおし みさき
大橋 美紗さん (30歳)
実家で家族や技能実習生と、トマト・メロン・オクラ・米を栽培。八代市と氷川町のトマト農家の若手メンバーと「トマトーヤの冒険」を結成。未婚。



▲完熟トマトもなかアイス

塚田▼だんだん機械化されてきて、体力は必要ですよ。お米は味が一番で、安全安心という付加価値をプラスしないと。米作りを女性一人で行っている人を見たことないし、私に出来たら「女性一人でも米作りができる」と証明になって、就農する女性が、増えてくれるかもしれないと期待しています。



▲有機肥料米「くらら米」

若い世代へのメッセージ
大地を愛し人を愛し
しなやかに生きる



さくらだ きんこ
作田 絹子さん (57歳)
千丁町在住。夫と息子夫婦に今年誕生したお孫さんの5人家族。い草農業を経営。熊本県つばさの会会員

実家も農家で十八歳から就農し、家庭菜園や新鮮で安心安全なもの、手作りにこだわって家族の健康を担っている作田絹子さん。
八代市合併前に「家族経営協定」を結び、八代市男女共同参画審議会委員や熊本県つばさの会会員など、農村女性の地位向上のため活躍しています。また、八代産い草の効能や性質などの素晴らしさを、多くの人に伝える活動もしています。今年二月には、※1「全国家の光大会」で熊本県代表として体験発表をしました。

お孫さんが誕生し、以前農家では子守はお婆ちゃんの仕事とされており、自分の手でできなかった悔いから、息子夫婦には子育てを任せるようにしました。
※1 家族経営協定：家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるもの。
※2 熊本県つばさの会：熊本県主催の国内・海外派遣研修に参加し、男女共同参画社会づくりの志をもった人たちが集まって活動している会。
※3 全国家の光大会：JA教育文化活動の成果発表の場。

シリーズ キラッと☆さん

インターネットで楽しいブログを見つけた。実家の養蜂園に入社した女性が、ミツバチ屋さんの四季折々を楽しく発信しています。どんな女性が書いているのかしら、最近更新されていきいけど...

早速「西岡養蜂園」(岡町谷川)に会いに行きました。



おおくぼちほこ 千穂さん
大窪千穂

千穂さんは今年四月に女の子を出産しママになっていました。

***現在仕事はどつていますか？**
会社の育児第二号で、日々育児に奮闘しています。

***入社のきっかけは？**

高校時代、寮生活をしていましたが、家族がよくハチミツを差し入れてくれました。その時、友達はハチミツにいるんな種類があることを知らず、私の前が友達達の当り前ではなかったため家の仕事を再認識しました。

幼い頃から両親が多忙で、イベントやスーパーなどの出店や現場にはよくついて行きました。トラックの中のおしゃべりや一緒に遊ぶおやあやつを食べるのがとても嬉しかったことを覚えています。母を見ていたので入社は自然なことでした。

***養蜂園ではハチミツの販売のほかにも、いろいろな仕事があるそうですね。**

ハチミツの採蜜や、主には蜂を飼育して、トマト・メロン・イチゴ農家に交配授粉用にリース販売しています。

***産休前は出店のほか、採蜜や蜜蜂の配達など現場にも出ていたようですが、結構ハードな仕事では？**

現場は重い巣箱を扱うので、結構きついですね。授粉用の巣箱設置は蜜蜂の性質上、夜間の作業になります。軽トラックに巣箱を積み、ビニールハウス内に設置して回るので、何軒にもなると終わるのが深夜になることも度々です。

***ブログを始めたのは？**

ホームページは以前からありましたが商品の紹介が主なので、みなさんあまり知られていない身近ないろんなことを、もっと知ってほしいと始めました。

今は育児に忙しくて更新できませんが、環境ができたならまた続けます。

***出産、子育てを経験して思うことは？**

子育てしながら仕事ができるのは周りの協力があったこそ。私も周りに気づかひのできる人になりたいと思います。

出産前は早く保育園に預けて仕事しようと考えていましたが、今は復帰して育児をしながら仕事ができる環境があるなら、もうしばらくはこのままでいいかなと思っています。

将来はこの子も私のようになるかもしれない。
***育児第一号として後輩のモデルになれるといいですね。**

はい。

「西岡養蜂園ぶらぐ」ぜひ一度ご覧ください。

www.nishoka-hachimitsu.com



〈H24年当時〉採蜜中の千穂さん(右)

スタッフ編集後記

○初めて会う女性たちが座談会で、話題も人脈も広がり共感共有できました。それぞれの立ち位置で、チャレンジ進行中。(井山さおり)

○地域で輝いているたくさんの方女性を紹介できました。誰もが輝く社会の実現を目指して、情報誌「Mi★Rai」も輝いているかしら。(賀久小夜子)

いっそROEフェスタ2015



【会場】やつしろハーモニーホール
【開催日】2015年2月8日(日) 午前10時～
ワークショップ/寸劇/講演会
※入場無料・託児あり
●講演
笑って考えよう、生活と仕事
～「何かおかしいな？」を解決するヒント～
●講師
☆イクメン東大教授☆ 瀬地山 角さん (せぢやま かくさん)
(東京大学大学院総合文化研究科教授)

ジェンダーからたて考えよう!

～「出前講座」好評実施中～ 制作：八代みらいネット



○老若男女それぞれの事情を抱え、支え合いながら生きる社会。相手の立場になって思いあつてみる。(羽多野文子)

○男女共同参画社会を作るためには、男女関係なくお互いを理解し協力し尊重することだと思ふ。MIRAIがそうなるといいな。(M)